

# おやま 市議会だより



第270号

## ●主な内容

### 平成27年度一般会計予算総額599億8千万円を可決

議案とその内容……………②	一般会計予算款別一覧……………⑤
人事案件……………②	一般会計予算歳入款別推移……………⑥
陳情……………③～④	一般会計予算歳出性質別推移……………⑥
審議結果……………③～④	市政一般質問……………⑧～⑫
議員提出議案・意見書…④～⑤	議会日誌……………⑫
委員会報告……………⑤～⑧	次会定例会の予定……………⑫

平成 27 年 4 月 25 日号



羽川大沼の鯉のぼり

小山市議会

編集 議会広報委員会

# 2月

## 定例会のあらまし

平成27年2月18日～3月17日

平成27年第1回(2月)定例会は、2月18日、3月17日までの28日間の会期で開かれました。本定例会では、平成27年度一般会計・各特別会計予算案をはじめ、平成26年度一般会計・各特別会計補正予算案、条例の制定、一部改正案などについて審議しました。

2月18日、市長から市政一般および近況について報告がありました。続いて議案48件、報告1件が上程され、提案理由の説明を受けた後、人事案件2件を可決しました。

2月20日、23日、25日は、16人の議員が市政

業、駅東通り一丁目第一地区市街地整備着工、区画整理完了地区土地利用促進事業、城南地区新設小学校基本・実施設計など。地域住民の利便性向上および地域コミュニティ活性化のための、消費生活基本計画策定など。地域経済を支える商工農業の振興および雇用の創出、中小企業への金融支援のための、グリーンツーリズム推進事業、国内友好都市交流事業など。

3月17日には、各委員長報告が行われ、審議の結果、議案46件を可決、陳情4件については、2件を採択、1件を不採択、1件を継続審査としました。さらに議員提出の議案3件と意見書案1件が追加上程され、これらも可決し、定例会を閉会しました。

25日は上程議案に対する質疑の後、各委員会への付託を行い、これを受けて、2月27日、3月2日、6日に各委員会がそれぞれ開かれ、審査を行いました。

### 人事案件

◆人権擁護委員候補者の推薦  
小山市大字神鳥谷874番地10  
細谷 由美子(再任)  
昭和26年9月22日生

### 副市長に宮嶋氏を再任

定例会初日、小山市副市長に宮嶋誠氏を選任する議案について、議会はこれに同意しました。

### ◆副市長の選任

小山市大字横倉新田282番地  
宮嶋 誠(再任)  
昭和27年2月8日生

### 〔宮嶋氏の略歴〕

平成19年 総務部長  
平成23年 副市長(二期)

## 主な議案

2月定例会で議決した市長提出議案の中から、主なものをお知らせします。

### ◆平成27年度小山市一般会計予算

予算総額は、前年度比0.4%増の599億8000万円。主な事業として、市民の生命・財産を守り、地域の安全・安心な暮らしのための、老朽危険空き家等対策事業、国営土地改良事業栃木南部地区推進事業など。子育て支援・社会保障・保健・スポーツ・健康づくり・医療対策の充実のための、子どもの貧困対策事業、認定こども園等施設型給付事業、スポーツ

立市推進事業など。高齢者・障がい者がいきいきと生活できる福祉対策の充実のため、生き生き高齢者育成支援推進事業、難病等福祉手当など。自然とふれあうまちづくりのための、ラムサール条約湿地登録渡良瀬遊水地の賢明な活用推進事業など。環境・エネルギー対策等の地球にやさしい暮らしづくりのための、路上喫煙等防止対策事業、住宅用蓄電池設置補助事業など。産業・都市・教育基盤整備による「人と企業を呼び込む施策」推進のための、小山駅西口周辺地区街なか居住推進事

業、駅東通り一丁目第一地区市街地整備着工、区画整理完了地区土地利用促進事業、城南地区新設小学校基本・実施設計など。地域住民の利便性向上および地域コミュニティ活性化のための、消費生活基本計画策定など。地域経済を支える商工農業の振興および雇用の創出、中小企業への金融支援のための、グリーンツーリズム推進事業、国内友好都市交流事業など。

### ◆平成27年度小山市特別会計予算(10会計)

各特別会計の予算総額は、国民健康保険195億9230万円、介護保険102億400万円、後期高齢者医療13億7700万円、病院事業債管理事業25億

7170万円、墓園やすらぎの森事業1億500万円、与良川水系湛水防除事業4000万円、農業集落排水処理事業6億1810万円、小山第四工業団地造成事業1億2000万円、公共用地先行取得事業1940万円、公共下水道事業50億8100万円。

◆小山市消費生活条例の制定  
消費者の利益の擁護および増進に関し、消費者の権利の尊重、自立の支援等の基本理念を定め、市や事業者等の責務、市の施策等を明確化し、市民の消費生活の安定および向上を図るため、条例を制定するもの。

(施行日)平成27年4月1日



議決後、あいさつをする宮嶋氏(右側)



## 平成 27 年第 1 回定例会（2 月）審議結果

## 議決結果

議案番号	議案名	議決結果	
<b>予 算</b>			
議案第 1 号	平成27年度小山市一般会計予算	原案可決	賛成多数
議案第 2 号	平成27年度小山市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	原案可決	全会一致
議案第 3 号	平成27年度小山市介護保険特別会計予算	原案可決	賛成多数
議案第 4 号	平成27年度小山市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 5 号	平成27年度小山市病院事業債管理事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 6 号	平成27年度小山市墓園やすらぎの森事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 7 号	平成27年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 8 号	平成27年度小山市農業集落排水処理事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第 9 号	平成27年度小山市小山第四工業団地造成事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第10号	平成27年度小山市公共用地先行取得事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第11号	平成27年度小山市公共下水道事業特別会計予算	原案可決	全会一致
議案第12号	平成27年度小山市水道事業会計予算	原案可決	賛成多数
議案第13号	平成26年度小山市一般会計補正予算(第 5 号)	原案可決	全会一致
議案第14号	平成26年度小山市国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第 2 号)	原案可決	全会一致
議案第15号	平成26年度小山市介護保険特別会計補正予算(第 3 号)	原案可決	全会一致
議案第16号	平成26年度小山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第 2 号)	原案可決	全会一致
議案第17号	平成26年度小山市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第 1 号)	原案可決	全会一致
議案第18号	平成26年度小山市公共下水道事業特別会計補正予算(第 2 号)	原案可決	全会一致
<b>条 例</b>			
議案第19号	小山市教育委員会教育長の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第20号	小山市教育委員会教育長の職務に専念する義務の特例に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第21号	小山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第22号	小山市消費生活条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第23号	小山市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第24号	小山市地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準等を定める条例の制定について	原案可決	全会一致
議案第25号	小山市行政手続条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第26号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第27号	小山市職員定数条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第28号	小山市長等の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第29号	小山市職員の給与に関する条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第30号	小山市公民館条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第31号	小山市福祉事務所設置条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第32号	小山市特定疾患患者福祉手当支給条例の一部改正について	原案可決	賛成多数
議案第33号	小山市就学指導委員会条例等の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第34号	小山市保育所条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第35号	小山市学童保育館条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第36号	小山市敬老祝金条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第37号	小山市介護保険条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第38号	小山市介護保険指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第39号	小山市介護保険指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議案第40号	小山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致

## 陳 情

2 月定例会では、新たに受理した陳情 3 件、閉会中の継続審査となっていた 1 件について審査しました。  
その結果、2 件を採択、1 件を不採択、1 件を閉会中の継続審査としました。

## 新たに受理したもの

## 陳情 3 件

## ●農協改革の検討に関する陳情

情

〔提出者〕小山市神鳥谷 1-11-32  
小山農業協同組合  
代表理事 組合長 高橋 良一

〔趣旨〕農協改革について、JA・中央会等が果たしている役割を十分踏まえ、「協同組合」の基本的性格を維持すること、准組合員の利用制限を行わないこと、法人化等の組織形態の転換を強制しないこと、中央会を農協法上に位置づけることを基本とした JA グループの自己改革を尊重した改革とすることを求める意見書を国に提出してほしい。

## ▽審査結果 不採択

●ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情

議案番号	議案名	議決結果	
<b>その他の議案</b>			
議案第41号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第42号	指定管理者の指定について	原案可決	全会一致
議案第43号	下都賀地区視聴覚ライブラリー協議会規約の一部変更について	原案可決	全会一致
議案第44号	下水道資源化工場施設の建設及び維持管理に関する事務の委託に関する規約の一部変更について	原案可決	全会一致
議案第45号	建設工事請負契約の締結について	原案可決	全会一致
議案第46号	建設工事請負契約の一部変更について	原案可決	全会一致
議案第47号	副市長の選任について	原案同意	全会一致
議案第48号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致
<b>議員提出議案</b>			
議第1号	小山市議会基本条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議第2号	小山市議会の議決事件に関する条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議第3号	小山市議会委員会条例の一部改正について	原案可決	全会一致
議第4号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書案の提出について	原案可決	全会一致
<b>陳情</b>			
陳情第26-3号	「労働者保護ルールの見直しに関する意見書」の提出を求める陳情書	採 択	議長裁決
陳情第27-1号	農協改革の検討に関する陳情	不採択	全会一致
陳情第27-2号	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情	採 択	全会一致
陳情第27-3号	「年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書」の提出を求める陳情書	継続審査	全会一致

賛否一覧表 (起立採決)

	議決結果	賛成	反対	大木元	大木英憲	福田幸平	植村一	野原勇一	苅部勉	荒井覚	篠崎佳之	小林英恵	森田晃吉	橋本守行	岡田裕	福田洋一	中屋大	安藤良子	山野井孝	大出ハマ	小川亘	荒川美代子	石川正雄	青木美智子	関良平	生井貞夫	塚原俊夫	角田良博	石島政己	野村広元	大山典男	山口忠保		
<b>予 算</b>																																		
議案第1号	原案可決	22:6		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第3号	原案可決	26:2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第12号	原案可決	27:1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>条 例</b>																																		
議案第32号	原案可決	26:2		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>陳 情</b>																																		
※ 陳情第26-3号	採 択	14:14		○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×

・○=賛成または採択、×=反対または不採択、欠=欠席 (議決結果が継続審査の場合は、○=継続審査を可とする、×は継続審査を不可とする)  
 ・議長(大山 典男)は採決に加わりません。※陳情第26-3号は、採決の結果可否同数となったため、議長裁決により採択されました。

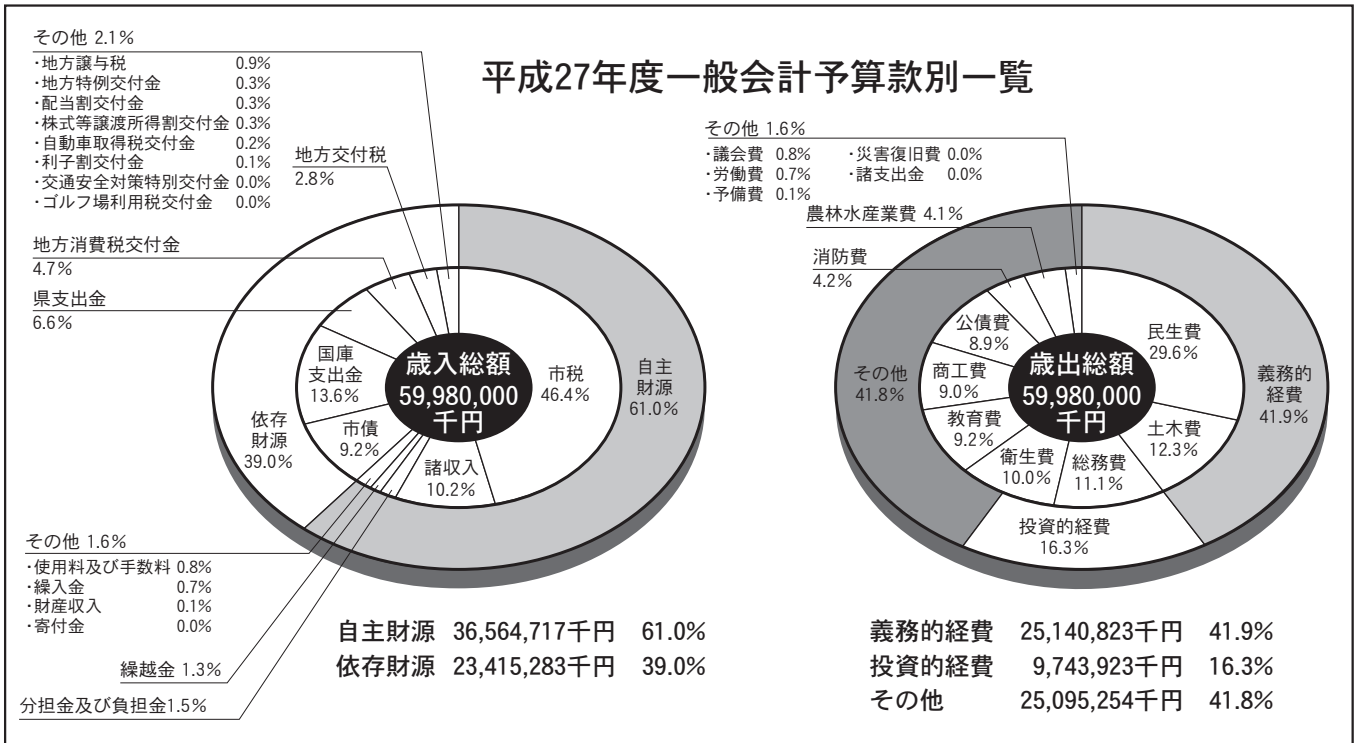
(提出者) 鹿沼市下田町2-1042-3  
 栃木肝臓友の会 運営委員  
 全国B型肝炎訴訟東京原告団  
 幹事 高村 博  
 (趣旨) ウイルス性肝炎患者(肝硬変・肝がん患者を含む)の蔓延は、国の責任が明確であるものの、医療費助成が限定されており、対象から外れている患者、また就労不能により生活に困難を来す患者も多数にのぼることから、次のことを求める意見書を国に提出してほしい。  
 1. ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。  
 2. 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。  
 ▼審査結果 採択  
 ●「年金積立金の安全かつ確実な運用を求める意見書」の提出を求める陳情書  
 (提出者) 小山市三峯2-1-14  
 連合栃木下都賀地域協議会  
 議長 小関 隆弘  
 (趣旨) 政府は「日本再興戦略」などにおいて、年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)

(F)に対し、リスク性資産割合を高める方向での年金積立金の運用の見直しを求めている。年金積立金が毀損した場合には、被保険者・受給者が被害をこうむることになることから、次のことを求める意見書を国に提出してほしい。  
 1. 年金積立金は、安全かつ確実な運用を堅持すること。  
 2. 年金の運用について、リスク性資産割合を高める方向での急激な変更は、実施しないこと。  
 3. GPIFにおいて、保険料拠出者である労使をはじめとする関係者が参画し、確実に意思反映できるガバナンス体制を構築すること。  
 ▼審査結果 継続審査  
 (継続審査に付されていたもの)  
 陳情1件  
 ●「労働者保護ルールの見直しに関する意見書」の提出を求める陳情書  
 ▼審査結果 採択

**議員提出議案**

定例会最終日、山口忠保議員ほか4名の議員から小山市議会基本条例の一部改正、小山市議会の議決事件に関する

### 平成27年度一般会計予算款別一覧



条例の一部改正、小山市議会委員会条例の一部改正についての議案が提出され、原案どおり可決しました。

◆**小山市議会基本条例の一部改正**—— 民生消防常任委員会の名称を民生常任委員会にすることおよび予算審査特別委員会を常任委員会にすることに伴い、所要の改正をするもの。

◆**小山市議会の議決事件に関する条例の一部改正**—— 総合計画の基本構想および基本計画の策定、変更または廃止に関することおよび都市宣言の制定、変更または廃止に関することを議会の議決すべき事件と定めることに伴い、所要の改正をするもの。

◆**小山市議会委員会条例の一部改正**—— 行政組織機構および所管事項の改編ならびに予算審査特別委員会を常任委員会化すること、また地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行により教育委員長が廃止されることに伴い、所要の改正をするもの。

### 意見書

定例会最終日、民生消防常任委員会から1件の意見書案が提出されました。審議の結果、原案どおり可決し、衆参

### 民生消防常任委員会提出

両院議長、内閣総理大臣ほか関係大臣に送付しました。

◆**ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書**

## 委員会審査から

議案は、本会議で議決される前に、原則として各委員会で慎重な審査を経ていきます。2月定例会の委員会審査の中から、主な質疑を紹介いたします。

### 予算審査



▼平成26年度小山市一般会計補正予算(第5号)

問 本場結城紬の生産振興のための販路拡大調査の内容は。

答 結城市の各関係者とも調整し、主に東京方面の着物屋等への販売やデザインの委託も含めて、販路を拡大するための調査を実施します。

問 臨時福祉給付金と、子育て世帯臨時特例給付金の事業費を減額する理由は。

答 臨時福祉給付金は、国の算定基準に基づき、当初は2万7000件を見込みましたが、実際の支給は1万8849件でした。子育て世帯臨時特例給付金は、当初2万98

▼平成27年度小山市一般会計予算

問 市税の滞納繰越分を縮小するための新たな取り組みは。

答 県税事務所との協働事務を行っており、協力を得ながら、滞納者調査の技術を高めたいと考えています。また、マルチペイメントネットワークを導入し、ATMからの直接納付や、集計事務等の効率化を図ります。

問 結婚活動応援事業の予算額が、平成26年度に比べて倍増した理由は。

答 平成27年度は、婚活サポ



■一般会計予算歳入款別推移

(単位：千円・%)

款	平成 27 年度		平成 22 年度		平成 17 年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比
自主財源	36,564,717	61.0	34,021,202	63.4	33,819,080	66.1
市税	27,800,206	46.4	26,394,990	49.2	24,109,892	47.1
分担金及び負担金	869,586	1.5	829,905	1.5	738,290	1.5
使用料及び手数料	450,635	0.8	496,114	0.9	501,651	1.0
財産収入	63,475	0.1	82,445	0.2	267,764	0.5
寄付金	9	0.0	3,008	0.0	7	0.0
繰入金	439,501	0.7	108,650	0.2	1,800,741	3.5
繰越金	800,000	1.3	200,000	0.4	900,000	1.8
諸収入	6,141,305	10.2	5,906,090	11.0	5,500,735	10.7
依存財源	23,415,283	39.0	19,638,798	36.6	17,380,920	33.9
地方譲与税	550,001	0.9	650,001	1.2	1,207,200	2.4
利子割交付金	50,000	0.1	110,000	0.2	150,000	0.3
配当割交付金	160,000	0.3	41,000	0.1	45,000	0.1
株式等譲渡所得割交付金	200,000	0.3	30,000	0.0	25,000	0.0
地方消費税交付金	2,830,000	4.7	1,700,000	3.2	1,600,000	3.1
ゴルフ場利用税交付金	29,780	0.0	36,571	0.0	40,010	0.1
自動車取得税交付金	90,000	0.2	250,001	0.5	409,700	0.8
地方特例交付金	150,000	0.3	334,000	0.6	730,000	1.4
地方交付税	1,680,000	2.8	1,450,000	2.7	730,000	1.4
交通安全対策特別交付金	30,000	0.0	42,000	0.1	42,000	0.1
国庫支出金	8,174,156	13.6	7,045,046	13.1	4,540,243	8.9
県支出金	3,973,746	6.6	3,573,779	6.7	2,417,767	4.7
市債	5,497,600	9.2	4,376,400	8.2	5,444,000	10.6
合 計	59,980,000	100.0	53,660,000	100.0	51,200,000	100.0

※自主財源（市税、繰入金、繰越金、分担金及び負担金など）

※依存財源（国・県支出金、地方消費税交付金、地方譲与税、地方交付税、地方特例交付金など）

■一般会計予算歳出性質別推移

(単位：千円・%)

性質別	平成 27 年度		平成 22 年度		平成 17 年度	
	予算額	構成比	予算額	構成比	予算額	構成比
義務別経費	25,140,823	41.9	24,448,640	45.6	23,262,010	45.4
人件費	9,268,990	15.5	10,127,113	18.9	11,439,012	22.3
扶助費	10,565,064	17.6	9,134,082	17.0	6,127,469	12.0
公債費	5,306,769	8.8	5,187,445	9.7	5,695,529	11.1
投資的経費	9,743,923	16.3	7,787,241	14.5	7,727,528	15.1
普通建設事業	9,743,921	16.3	6,290,854	11.7	6,166,842	12.0
(補助事業)	5,744,641	9.6	2,981,466	5.5	1,237,715	2.4
(単独事業)	3,999,280	6.7	3,309,388	6.2	4,929,127	9.6
用地取得事業			1,496,382	2.8	1,560,681	3.1
災害復旧事業	2	0.0	5	0.0	5	0.0
その他（物件費など）	25,095,254	41.8	21,424,119	39.9	20,210,462	39.5
合 計	59,980,000	100.0	53,660,000	100.0	51,200,000	100.0

※人件費（議員報酬、特別職給与、職員給、各種委員報酬、退職金など）

※扶助費（社会保障制度の一環として現金や物品などを支給する費用で、各種法令に基づくもののほか、こども医療費助成など市の施策として行うものも含む）

※公債費（市が借り入れた地方債の元利償還金および一時借入金利子の合算額。県からの借入金の返還額およびその利子も含む）

ーターを計画しています。経験者等から必要な知識を習得後、サポーターとして認定し、サポーター同士の情報交換会を開催しつつ、結婚希望者同士の出会いの場を設ける事業を進めていきたいと考えています。

**問** なつみずたんぼ振興事業の内容は。

**答** 麦の収穫後、夏の間には水を張ることで生物多様性に配慮した環境にやさしい農業を創出し、トキ・コウノトリの野生復帰を目指す事業です。渡良瀬遊水地の賢明な活用を推進するため、平成27年度においては、生井、寒川、中、穂積地区で実施する予定です。

**問** 新交通システム導入検討事業費の説明に、高岳引込線への新交通システムの導入計画を策定するとあるが、導入が決定したのか。

**答** 平成27年度は、技術的な検討、法的な検討、周辺の土地利用を含めたまちづくりに関する検討の3点について検討する予定です。

## 総務



▼小山市行政手続条例の一部改正について

**問** 条例の改正による変更の内容は。

**答** 市が行政指導を行う場合に、これまでは根拠となる法令等の名称、条番号を示すのみであったものが、改正後においては、具体的な根拠となる法令、条文等の具体的な内容も示すことになること、行政指導を受けた市民が法律または条例の要件に適合しないと思われる場合には、その行政指導の中止を求めることができること、第三者の市民が処分または行政指導を行うべき案件を見つけたときは、市に対して処分または行政指導を行うように申し出ができるようになったことです。

**▼特別職の職員で非常勤のもの**の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について

**問** 新たに設置するスクールソーシャルワーカー(SSW)の採用予定人数、担当する業務、資格要件は。

**答** 採用人数は2名です。学校・幼稚園・保育所の巡回相談子育て・家庭支援課での面接相談、関係機関との連絡調整、子ども貧困撲滅支援センターでの相談事業、公民館における要支援生活応援事業、子どもサポーター養成講座・地域

支援会議を担当します。社会福祉士、あるいは精神保健福祉士等の資格を有することを要件としています。

## 民生消防



▼平成27年度小山市国民健康保険特別会計(事業勘定)予算

**問** 国保税調定見込額が、前年度より減少している要因は。

**答** 被保険者数が約1000人減少していることと、低所得者に対する軽減判定が平成26年度から拡大されたことが要因です。軽減判定については、5割軽減の対象とされていなかっただけで、平成26年度から対象となったことなどで、平成27年度の軽減世帯数が、1635世帯増加すると予想されます。

**▼平成27年度小山市後期高齢者医療特別会計予算**

**問** 後期高齢者の医療費の抑制や対応策は。

**答** 健康診査と保健事業を実施しています。小山市における後期高齢者の健診受診率は、約36%と県内の中でも高い水準にあります。また、人間ドックの費用の一部を助成するなどの取り組みも実施してい

ます。

▼小山市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正について

**問** 新たに設置する機能別消防団員についての詳細は。

**答** 平成27年4月に、市職員機能別消防団員を設置する予定です。また、小山市の特性に合った機能別消防団員の設置についても検討しています。消防自動車も所持している事業所に対しても、設置に向け働きかけをしていきます。

## 教育経済



▼平成27年度小山市与良川水系湛水防除事業特別会計予算

**問** 平成26年度における各排水機場の運転時間は。

**答** 平成26年度は6月の降雨による水位上昇と10月の台風に対応するため運転を行っており、荒川排水機場は43時間15分、与良川第1排水機場は32時間30分、与良川第2排水機場は160時間30分、塩沢排水機場は7時間50分運転しています。

**問** 荒川排水機場と塩沢排水機場に計上している工事請負費の内容および与良川排水機場に工事請負費を計上してい

ない理由は。

**答** 荒川排水機場の工事請負費はゲートの塗装・修繕のため計上しており、塩沢排水機場の工事請負費は不測の事態に対応するため計上しています。一方、与良川排水機場は平成25年度にポンプの整備をしたこと、また、平成28年度から国営事業において更新を考えていることから平成27年度は工事請負費を計上していません。

## 建設水道



▼平成27年度小山市公共下水道事業特別会計予算

**問** 継続費に計上されている扶桑水処理センターの更新工事は今後も続くのか。また国の負担割合は。

**答** 扶桑水処理センターの更新工事については、平成27、28年度の事業費3億8420万円、内容は、第2期工事その1の電気設備、機械設備の更新です。今後、第2期工事その2、第2期工事その3と、平成30年度まで継続して事業を進める予定です。また、国庫補助率は2分の1です。

▼平成27年度小山市水道事業会計予算

問 小山市の配水設備の整備状況と平成27年度の整備予定は。

答 平成25年度末で管路の総延長が901kmです。平成27年度の整備については、区画整理事業で1.7km、通常の拡張事業で8.8km、個人の

給水管を切り替える幅輻管工事で1.5kmです。

問 老朽管の更新予定は。

答 鶴島浄水場からのルートについて延長360mで、直径300mmの鑄鉄管の更新を予定しています。

## 市政を問う

2月定例会市政一般質問

2月20日、23日から25日にかけて、16人の議員が市政の諸問題や将来の展望などについて一般質問しました。

### 第7次総合計画

石島政己

問 第7次小山市総合計画策定において人口減少という時代背景をどのように捉え人口フレームを設定するのか。

企画財政部長 第7次小山市総合計画における人口フレームについては、小山市の人口も減少局面に転じると予測した国立社会保障・人口問題研究所の推計をもとに、国の地方政策における「まち・ひと・しごと創生」の効果による人口の自然増や、小山市が進めてきた「一人と企業を呼び込む施策」、今後策定する地方版

総合戦略による社会増等、政策的付加人口」を加味して設定していきます。

### 絹地区の小中一貫校

問 絹地区3小学校の統廃合と小中一貫校への移行について、諸問題の整理と解決方針とスケジュールについて問う。

教育部長 絹中学区では、児童数が平成26年度206名から平成32年度175名に減少するとともに、延島小学校では平成28年度に一部複式学級となることが見込まれており、社会性を高めるといふ学校の役割からも課題が多くなりま

PTA役員、学校関係者で構成された小中一貫校推進委員会において、それらの課題や推進委員会での意見等を整理し、3月中旬に基本計画を取りまとめ、平成29年4月には新しい小学校として開校したいと考えています。

### 介護保険制度改正

関 良平

問 介護保険制度改正および介護保険料の改定について伺う。

保健福祉部長 制度改正により、要支援1、2の方の通所介護、訪問介護サービスが、平成28年度から市の実施する新しい総合事業に移行することになります。現在の利用者が円滑に移行できるよう、市内事業者と現行相当のサービス提供者と現行相当のサービス提供体制や、通所介護、訪問介護に代わり、受け皿となる基準を緩和したサービス提供について協議していきます。また、保険料は平成27年度から3年間の標準月額保険料を5518円と算定しました。保険料の所得段階区分は、現行の8段階から11段階へと細分化し、さらに、低所得者に対して、公費負担による保険料軽減の仕組みも導入します。

### ふるさと納税制度

問 ふるさと納税について伺う。

副市長 平成27年度から、おやまブランド産品カタログから寄附額に応じて付与されたポイントを利用し、特典を選択できる、ふるさと納税ポイントシステムの導入と、ふるさと納税専門ポータルサイトを利用し、全国発信の強化を図ります。これらの取り組みにより、制度本来の趣旨を踏まえつつ、寄附の拡大を通じた市産品の生産振興、地域活性化につなげていきたいと考えています。また、独居高齢者の市外にいるご子弟の方々にも、ふるさと納税を活用し、高齢者見守り対策等の支援をしていただけのように、制度を財源とする事業のPRも積極的にを行います。

### 子どもの貧困撲滅

青木美智子

問 子どもの貧困撲滅支援センターの設置計画と具体的取組内容、スクールソーシャルワーカー(SSW)の任務がカギとなるが、雇用計画と配置について。

市長 子どもの貧困撲滅支援

センターでは、中学生を対象とした学びの教室や生活応援事業の実施とともに、子どもや家族の相談に応じます。

保健福祉部長 子どもの貧困撲滅支援センターは、平成27年度に中央、大谷、間々田、平成28年度に桑、豊田の各公民館に設置する予定です。SSWは、非常勤が2名で、1名あたり月に16日、合わせて32日の勤務体制を考えています。

### 学校司書

問 学校図書館業務は、担任を持つ多忙な兼任の司書教諭でなく、専任司書を配置し学校図書館の充実を図れないか。

教育部長 学校司書を配置している他市は、学校に市費職員を1名配置し、その主な業務を図書館司書にしていると思われま。小山市においては、配置されている学校事務職が図書館事務についても実施しています。約7割の学校から図書業務について問題なくできるとの回答を得ております。学校の全体の事務の中で、配置された学校事務職に何を主な業務とするか、学校とも協議していきます。



### 女性の再就職支援

荒川美代子

問 人口減少時代に労働力確保のために、離職後の再就職が難しい女性の再就職支援が必要と思うが。

市長 これからの就職・再就職や地域貢献、起業にチャレンジする女性を応援するため、女性のチャレンジ応援プランを平成27年度に国が実施します。応援プランに呼応する小山市の事業については、家事や子育てと両立可能な就職、再就職支援として、出産や育児などで離職した女性が再就職に必要な情報やスキルを習得する「ママのための就職支援セミナー」や、保育士資格を有する方対象の「保育士再就職支援研修」など、様々な事業を実施しています。

### 飼い犬等避妊手術費補助

問 犬猫の殺処分ゼロを目指すべきと思う。動物愛護の観点から、飼い犬等避妊手術費補助金事業について伺う。

市民生活部長 近年の犬、猫における住民生活の被害は、飼主の飼育不十分のため、不必要な繁殖により増加しています。避妊手術費補助制度は、手術費用の一部を補助することにより、

犬、猫の適正な飼育を促すとともに、不幸な野良犬、野良猫を抑制し、快適な住民生活を図るためのものです。内容は、世帯につき年1回の補助で、雌犬5000円、雌猫4000円を交付する方向で、平成27年4月からの実施に向けて準備を進めています。

### 新設農道の交通安全対策

大出ハマ

問 新設農道の整備において、事故発生前に、事前の交通安全対策を。

市民生活部長 死亡事故が発生した場合、交通管理者と道路管理者、生活安心課が集まり、現場の診断を行い、交通規制や路面標示など、それぞれの担当でできる内容を協議し実施しております。事前の交通事故対策については、今後、市、関係機関と調整を行いながら、農道整備時に事故防止対策を実施できるように検討していきます。

### 南小林地区への道標の設置

問 歴史的資産が残されている南小林地区に、地域振興策の一環として道標の設置を。企画財政部長 南小林地区は、由緒ある建造物が建ち並

び、旧街道の道筋と宿場町の地割が現在の集落に受け継がれるなど、情緒あふれる景観が今なおとどめられております。貴重な歴史的資産や景観を後世に引き継ぐため、南小林地区を歴史的資産を活用したまちづくりのモデルケースとして、市民が誇りと愛着を育てるよう道標や説明板の設置、近隣の史跡や観光関連施設等との回遊性を含めた全体の活用について、地元の皆様とよく協議し、取り組んでいきます。



東箭神社 (南小林地区)

### スポーツ施設整備計画策定

山野井孝

問 市のスポーツ施設を整備するうえで必要となる「スポーツ施設整備計画」をいつまでに策定するのか伺う。

教育部長 平成11年度策定の現存計画を見直し、次期計画の策定に際しては、拠点となるスポーツ施設整備、地域の特色を生かした身近なスポーツ施設整備、市全体のバランスやアクセス環境を配慮し配置した施設整備等を考えています。また、各関係所管課とも協議し、施設の現状と課題を把握したうえで、次年度実施予定の市民意識調査や、議員を含めた有識者による会議等で十分な検討を重ね、平成27年度中に策定するための作業を進めていきます。

### 通学路の安全対策

問 通学路の一斉点検で発見された危険箇所に行ってきた対策、今後取り組んでいく施策等について伺う。

教育部長 平成24年9月点検での対策必要箇所106カ所のうち、平成27年1月現在、82カ所でグリーンベルトの設置、カラー舗装、路面標示、看板設置、交通指導員配置、信号機設置等の対策が完了し、事業継続中は7カ所です。残りの17カ所については、次年度以降の整備を計画しています。また、今年度は新たに47カ所の対策を進めており、

1月末現在8カ所の対策が完了しました。今後も通学路安全推進会議を定期開催し、6月策定の通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関が連携し、児童生徒が安全に通学できるよう安全確保を図ります。

### 中学での硬式テニス活動

安藤良子

問 小山市テニス協会のジュニアテニスクラブの卒業生が中学に入っても硬式テニスを続けられる対策はないか。

教育部長 小山市において硬式テニスを専門的に学びたい場合は、テニス教室に通うか個人的にコーチに師事することになります。このような状況を受けて、市内に数ある愛好会の中で子どもを育成してもらえるところが確保できるように、小山市テニス協会を通じて強く働きかけるとともに、協会が主催する硬式テニス教室が一層拡充されるよう支援していきます。

### トキ・コウノトリの野生復帰

問 トキ・コウノトリと共生することが現実になったら環境整備をどうするか。企画財政部長 自然放鳥され

たトキ・コウノトリが渡良瀬遊水地の周辺地域に飛来し、生息できるよう、餌となるドジョウやカエル、小魚などが年中生息するふゆみずたんぼの拡大を市において図っている一方で、国土交通省が渡良瀬遊水地第2調節池の掘削による湿地再生を進めています。昨年は、渡良瀬遊水地に7羽のコウノトリが飛来しており、今後さらに定住させるためにも採餌環境を整えておくことが必要と考えています。

### 第6次行革大綱策定

福田 洋一

問 第6次小山市行政改革大綱の策定にあたり、第5次行政改革を踏まえ、どのように対応していくのか。

総務部長 第5次行政改革では、事務事業の見直しや人件費をはじめとする歳出の削減、市税や税外収入等の歳入の確保等の量の改革と、財政運営の安定、市民サービスの充実、人材育成、組織機構の見直し等の質の改革を推進してきました。その結果、平成25年度までの4年間の累計効果額は26億7900万円となりました。第6次行政改革大綱の策定にあたっての市民アンケート

トの調査結果において、これまでの行政改革の重点事業を継続すべきとの意見があることから、今後も業務の効率化、職員の意識改革、経費の節減に取り組んでいきます。さらに、人口減少社会を踏まえ、限られた財源の中で市民やボランティア団体、NPO等と地域協働の仕組みづくりを構築し、効率的で質の高い市民サービスの向上を目指していきます。

### 桑地区中心施設周辺整備

問 桑地区中心施設が先行して整備されているが、今後周辺整備の考え方は。

市民生活部長 現在、平成28年4月の開設を目指し、県道小山・下野線沿いの約1・38haの区域を建設地として、桑地区中心施設の建物本体および駐車場整備を先行して進めています。周辺整備については、平成25年3月に策定した小山市桑地区中心施設基本計画に基づき、運動広場、多目的広場および駐車場等を桑地区中心施設と大沼との間の約2・0haの区域を計画地として、施設の開設後段階的に整備しようとするものです。しかし、当該区域が市街化調整

区域内に位置することから、これらの周辺整備に際しても優良農地が分断されることがないように、周辺を含めた区域全体の取り扱いについて整理するとともに、農用地利用計画の変更（農振除外）手続きを進めることが何より重要になります。今後は全庁的な検討を行いながら財源を確保し、よりよい整備方策が得られるよう関係機関との協議、調整を行うていきます。



桑地区中心施設工事現場

### 市役所本庁舎の整備

中屋 大

問 市役所本庁舎の建て替えを含めた検討は行えないか。また、整備方針、考え方は。企画財政部長 市民アンケート調査で、耐震化を求める意見が多かったことを踏まえ、

建て替えよりも耐震補強による耐震化が現実的との考えから、耐震工法での検討を進めてきました。庁舎に居ながら施工可能な免震工法も考えられました。庁舎の特異的な構造のため、整備費や工期も考え、耐震工法が優良と判断したところです。段階的に工事を施工し、整備費全体の抑制を図ることを現在検討しています。

### 横倉第一雨水幹線

問 横倉新田、雨ヶ谷地内を流れる大川支線水路の雨水災害の解決を図る横倉第一雨水幹線の来年度からの計画は。

市長 横倉第一雨水幹線の整備については、延長約2km、管径2000mm、総事業費約20億円で、平成27年度に実施設計に着手し、28年度に工事着工、工事費を毎年3・4億円を確保するよう努力し、約6年で完成させたいと考えています。その間の浸水被害軽減のため、既存の雨ヶ谷第一調整池上流部に、平成27年度完成を目指し、雨ヶ谷第二および第三調整池の整備を現在進めています。地域の皆様の安全・安心のため、早期完成を目指します。

### ご当地婚姻届

森田 晃吉

問 小山市独自のご当地婚姻届について伺う。

市民生活部長 ご当地婚姻届は、カップルが婚姻の際の記念として使用できる婚姻届のことで、自治体のPR効果も期待して、独自に作成し、結婚情報誌を企画制作する会社のホームページからダウンロードできるようなっているものです。栃木県内では栃木県と日光市でご当地婚姻届を作り、この企業のホームページに掲載しています。那須町は独自の方法で、窓口にご当地婚姻届を置くことを検討していると聞いています。小山市を全国に広く知っていたため、一つの方法として、市独自のオリジナル婚姻届を作成し、カップルがその記念として使っていたことは、市のイメージアップになるものと考えています。婚姻届の様式は、戸籍法で定められていますので、市のPRにつながる特色あるデザインを加えた婚姻届を、関係機関と早急に検討していきます。



ミニバスケットゴール設置

問 小山第一小学校体育館の公式用ミニバスケットゴールの設置について伺う。

市長 小山第一小学校の体育館では、市内4校の児童が集まり、活発にミニバスケットボールの練習を行い、今年度の県大会でも優勝するなど、大変活躍するとともに、市内各チームが参加した練習も行われています。この体育館は平成24年度に耐震補強を実施し、建物の根幹となる構造強度を確保し、修繕についても随時対応しています。現在のバスケットゴール設備は、昭和51年の建設当時に設置されたものであり、ミニバスケットに対応したゴール設備ではありません。今後は、元気に活動する多くの児童たちへの支援を込め、さらなる競技力の向上や競技する児童の増加を期待し、平成27年度中に早急にミニバスケットにも対応できるように設備の更新を進めたいと考えています。

天体望遠鏡移設

小林 英恵

問 問々田中学校内天体望遠鏡を渡良瀬遊水地に計画され

ている自然学習施設に移設する考えは。

教育部長 渡良瀬遊水地関連振興5カ年計画が策定され、貴重な動植物が生息する自然の宝庫を広く知ってもらうため、遊水地に展示施設や研修室、展望施設などが計画されています。夜間照明がほとんど影響せず、天体観測にはこの上ない場所であるため、移設先の候補地として検討していきます。現在設置されている問々田中学校からの移設を含めた経費について設置業者に調査委託を行うとともに、稼働後の運用方法についても、学識経験者や学校関係者の意見を聞き、今後の有効活用について調査研究を行っていきます。

ロUBLELIL活用

問 イズミヤ小山店営業終了におけるロUBLELILの有効活用について、公共施設再配置を含めた小山市の考えは。

経済部長 ロUBLELILは平成元年に設立された駅西地区市街地再開発組合により建設された商業ビルで、イズミヤ株式会社をキーテナントとして平成6年6月にイズミヤ小山店としてオープンしまし

た。しかし、開業以来業績は伸び悩み、今後の収益改善が見込めず、8月末をもっての営業終了が決定しました。ロUBLELILのある小山駅西口地区は、過疎化が進んでいます

が、立地利便性の高い地区であり、中心市街地の活性化を強力に推進していくには、同ビルが商業ビルとして存続していくことが望ましいことから、昨年11月に庁内に駅西口地域活性化検討委員会を設置し、小山駅西口地域の活性化の検討を開始しています。今後、ロUBLELILの利活用については、ロUBLELIL活用委員会を設置し、協議していきます。

個人質問(質問順)

地域創生戦略策定

山口 忠保

問 産業連関表を作成し、経済構造を踏まえた成長戦略と地域資源を最大限生かした、小山市地域創生戦略策定を。

企画財政部長 産業連関表を活用することで、産業ごとの地域外との資金の流入流出の構造や、施策の経済波及効果等についても分析できることから、市の強みを生かした地方版総合戦略の策定に役立つ

道徳教育

角田 良博

と考えられます。地方版総合戦略の策定に関し、国から地域経済にかかわるさまざまなデータを集めた地域経済分析システムの提供が予定され、産業連関分析についても機能追加が検討されているとのことで、その際には活用も検討していきます。

問 学校教育における道徳教育の現状と今後の取り組みは。

教育長 学校教育における道徳教育は、教育活動全体を通して行うものであり、小山市においても、道徳教育拠点校を核として、挨拶や礼儀、感謝の心など、どんな時代になっても大切にしなければならぬことを指導するとともに、人としてしてはならないこと、すべきことをしっかりと教え、子どもの心の教育の充実に努めています。

広域組合検証委員会

石川 正雄

問 小山広域保健衛生組合の検証委員会の進捗について伺う。

市民生活部長 一般廃棄物処理委託訴訟に関する検証委員

会は、廃棄物関係者2名、法律関係者2名、各構成市町の住民代表者4名の計8名で構成され、第1回目は平成26年8月27日に開催され、これまでに計4回開催されたと聞いています。また、自由闊達な意見交換と公平公正な判断をするため、会議を非公開とし、住民代表者については、市民目線の意見をいただきながらも、発言の重みを考慮し、負担軽減とプライバシー保護のため、氏名等は非公開としていくと聞いています。

旧思川水辺公園整備事業

篠崎 佳之

問 旧思川水辺公園整備事業について、水質の改善、水面の確保をするために、具体的にどのようなことをするのか。

企画財政部長 旧思川は、長期間にわたり泥や植物等が水底に堆積しており、平均水深が約60cmと浅くなったため、ヨシ等が生息しやすい環境となっており、両岸から水辺の中央部に向かってヨシ等の繁茂が進行し、年々水面の幅が狭まってきています。平成27年度は、水底に堆積した泥等の浚渫と合わせて、ヨシなどの除去を行うことにより、水

質の改善と水面の確保を図るとともに、水深を深くすることで、再びヨシ等が生育しにくい環境とし魅力的な水辺環境を創出していきます。また、水底の浚渫を行う際には、在来魚の生存を脅かすオコウチバス等の外来魚を駆除することも可能であり、市民の皆様に参加をいただき、実施することを検討しています。

### 新交通システム 荒井 覚

問 「高岳引込線」を利用した新交通システムについての考えは。

市長 平成27年度に予定している新交通システム導入検討事業調査は、超高齢化社会を迎えるに当たり、さらなる公共交通の充実を図るため、既存ストックである高岳引込線を活用した軌道系の交通システムの導入検討を行うものです。具体的には新交通システムに対するニーズや沿線の新たなまちづくりの意向を把握し、導入効果等を理解してもらうよう地元住民と勉強会を開催するとともに、想定される交通諸問題についても道路管理者や交通管理者等と協議・調整し、需要予測や収支

### 予測等を検討していきます。 議会日誌

- ▽22日 〔1月〕 執行部との定例懇談会／教育経済常任委員会協議会
- ▽26日 会派代表者会議／議員説明会／議会改革推進協議会
- ▽28日 議会広報委員会／議会運営委員会
- ▽29日 小山市議会60周年記念誌編纂実行委員会
- 〔2月〕
- ▽3日 小山駅周辺都市整備対策特別委員会
- ▽5日 議員説明会／公共施設等整備調査特別委員会
- ▽12日 議会運営委員会
- ▽18日 会派代表者会議
- ▽20日 小山市議会60周年記念誌編纂実行委員会
- ▽23日 議会広報委員会
- ▽25日 会派代表者会議／民生消防常任委員会協議会
- ▽27日 民生消防常任委員会
- 〔3月〕
- ▽2日 教育経済常任委員会
- ▽3日 建設水道常任委員会
- ▽4日 総務常任委員会／公共施設等整備調査特

### 次回定例会の予定

6月8日(月)	本会議(開会・議案上程)
6月10日(水)	本会議(一般質問)
6月11日(木)	本会議(一般質問)
6月12日(金)	本会議(一般質問)
6月15日(月)	本会議(一般質問・付託)
6月17日(水)	委員会
6月18日(木)	委員会
6月19日(金)	委員会
6月22日(月)	委員会
6月29日(月)	本会議(採決・閉会)

※正式な日程は、後日開催する議会運営委員会にて決定しますのでご了承ください。

平成27年第1回定例会の傍聴者数  
2月定例会の傍聴者数は、本会議71人でした。

2月18日=1人	2月20日=11人
23日=19人	24日=29人
25日=7人	3月5日=1人
17日=3人	

去る4月16日、市議会は執行部とともに栃木県に対し、現在小山市に回復期病床がないことから、今年度、県が策定する地域医療ビジョンにおいて、小山市に40床の回復期病床の設置を求める要望書を提出しました。



知事に要望書を手渡す大山議長・大久保市長

新市民病院跡地(若木町)に40床の回復期病床設置を  
知事に要望

- ▽5・6日 別委員会 予算審査特別委員会
- ▽6日 会派代表者会議
- ▽16日 会派代表者会議
- ▽17日 議会運営委員会／議員説明会
- 〔4月〕
- ▽10日 議会広報委員会
- ▽16日 県に要望書を提出

(森田)

思い起こせば4年前、まだ記憶に新しい3・11の大震災が発生し、多くの尊い命を失いました。我が小山市におきましても、多くの家屋に被害が生じました。このことを踏まえ小山市も災害に強いまちづくりの為、消防署の新築をはじめ消防職員、消防団の意識改革に取り組んでいるところがあります。

また、今後も新小山市民病院建設や市立体育館建設も計画されておりますので、市民の皆様がいやすく満足していただけるよう議会としても精一杯、皆様のご意見を反映できるように努力して参ります。

2月議会も閉会となり、平成27年度予算59億8000万円の議決のほか、重要案件について熱心な審議の結果、議案52件を議決いたしました。

編集 2月議会  
後記 も閉会となり、平成27年度予算59億8000万円の議決のほか、重要案件について熱心な審議の結果、議案52件を議決いたしました。